

## 安曇野の空き家と運命の出会い 大阪から移住

### Interview



大阪から移住  
藤井 竜太さん 由貴さん

2021年に安曇野市に夫婦で移住し、ゲストハウス宿り木と農業を営みながら暮らす藤井竜太さんと由貴さん。安曇野に移住したきっかけや、日々の暮らしについて話を聞きました。

### いつか信州に住んでみたい

登山が趣味で何度も長野県に訪れているうちに、いつか信州に住んでみたいと考えることが多くなりました。定年後に移住できればと思っていましたが、バリバリ働けるうちに移住したいと考え、茅野市への移住を経て、2021年に妻と一緒に穂高に定住しました。

2019年のある雨の日、登山に行けないので移住情報を調べていると、大阪でイベントがあることを知り早速申し込みました。そのイベントで八ヶ岳登山によく訪れていた茅野市での現地ツアーを見つけ、参加しました。この時出



趣味の登山や自然と一緒に安曇野ライフを楽しむ

会った担当者さんとは同じ登山が趣味だったこともあり、飲み仲間になりました。地元に住む人と仲良くなることでリアルな声が聞けたことも、茅野市への移住のきっかけの一つとなりました。

### 安曇野市で運命の出会い

2019年1月の初出勤日に退職願を提出し、4月に茅野市内の借家で移住生活をスタートさせました。茅野市で暮らしながら毎週末、物件探しをしていましたが、近場でなかなかいい物件が見つからず、安曇野市まで範囲を広げた

ところ、2件目で現在住んでいる運命の物件と出会うことができました。2021年4月から安曇野での生活がスタート。住まいは築50年、10年間空き家であったため、市の空き家改修補助金を利用し、できるところは自分たちでリフォームしました。

### 人とのつながりを大切に

移住した際の頃は、知り合いがいなかったのに外に働きに出ることを心掛けた。リモートワークで仕事ができる時代ですが、知らない土地で長く生活していく上では、知り合いづくりは大切なことだと思っています。



由貴さん手描きの看板でお出迎え

最初は田舎暮らしでのんびり生活ができるかと思っていましたが、草刈りや落ち葉掃除など季節ごとにやるべきことが多く、なかなかゆっくりできないのが現実です。しかし、落ち葉で焼き芋をするなど生活の中に楽しみを見つけられることが今の暮らしの良い所です。

移住は、慣れない土地に飛び込む勇気とパワーが必要です。積極的に地域に出ることで、地元の皆さんとの出会いを楽しみながら暮らすことができます。また、ゲストハウスの経営を通じて移住を希望する人たちに体験談なども話せたらと思っています。

## あづみの移住大使 篠原信一さん 出演プロモーションビデオをご覧ください!

### 篠原さんコメント

元々自然豊かなところに住みたいという思いがあり、北アルプスの美しさが抜群で、かつ首都圏へのアクセスもよい安曇野に移住しました。冬は正直寒いですが、住環境にはこだわりがあり薪ストーブをたきながら子どもたちと一緒にピザを焼いたり、近所の方からもらったリングをスライスしてドライフルーツを作ったり、楽しんで生活しています。自然に囲まれた生活したい方には安曇野はオススメです。



動画はこちら 市公式 YouTube ▶



市公式 YouTube チャンネルでは、アウトドア・子育て・農業を体験しながら、自然豊かな安曇野の魅力を紹介するプロモーションビデオを公開中です。ぜひご覧ください。

## 安曇野に暮らす魅力を伝え 地域の力を高める

北アルプスや田園風景とともに、そこに住む人たちの暮らしが見える。それが安曇野の魅力だと思います。移住先として多くの皆さんに選んでいただき、転入者が多い傾向が続いている安曇野ですが、地域の資源を活かし、交流人口の拡大や、若い皆さんの将来の移住定住につながる、きめ細やかな対応と質の高い暮らしを実現することが大切だと考えています。今後も安曇野の魅力を全国にPRし、移住を通じた市の地域力をアップさせるための取り組みを行っていきます。



安曇野市長 太田 寛

### Interview

## 寄り添う気持ちで 移住を地域活性化につなげたい



東小倉区長  
大栗 勲さん

北小倉区、南小倉区、東小倉区、室町区からなる小倉地域の共通課題は、人口減少(10年間で321人減少)と高齢化(60歳以上45%)です。この課題を解決するため、移住者を増やすことを目的に、本年8月、移住定住推進課、地元の市議会議員、小倉4区長(7人)で、移住推進の協力体制をつくりました。移住される方の不安を少しでも解消したいと思い、11月26日に開かれた「移住交流ツアー」の交流会に区として初めて参加し、小倉地域の良い所、移住者を歓迎する地域であることを説明しました。当日は、住んでみないと分からないことを見える化し、「どんな地域か」、「お互いに尊重し合える地域か」などを丁寧に話をしました。移住希望者からは「知りたかったことが地元区長さんから聞けて良かった」、「移住者を歓迎する地域だと感じられた」、「もう少しお話をしたかった」などの嬉しい声を

いただきました。参加した区長からも「日ごろ当たり前だが、移住希望者から見ると新鮮に見える事に驚いた」、「地元を褒めてもらえると、嬉しい」などの感想をいただきました。改めて地元の良さに気付かされ、移住希望者と地元区長とが、気持ちを交換し合うことができた交流会になったと感じています。移住者を受け入れる側として大切にしていることは、立場を自分に置き換え、寄り添うことです。不安な時に親身になって相談に乗ってくださること、地元住民にとって当たり前のことを教えてくれること、このように寄り添うことができれば、移住された方も地域に馴染みやすく、コミュニティが生まれ、地域活性化につながっていくと思います。



11/26 移住交流会 参加者の皆さんと